

どうやって遊ぼうかな？

対象児：3歳児 ゆり組

作成者：坂本七海

作成日：2022.01.18

○ねらい 自分の経験から学んだことを活かし、友だちと一緒に楽しみながら遊びを豊かにする。



○保育の振り返り

登園後の遊びの時間、いつもあるものとは違う素材（おはながみ）を置いてみました。「これでなにをするん？」と遊び方が気になるようだったので、保育者が「コップに入れてジュース作ってみる？」とままごとのコップにおはながみを丸めて入れてみました。着替えを終えた子ども達が集まってきて、「私もする！」「僕もアイス作りしたい！」とおはながみを丸め始めました。保育者が紙コップや色鉛筆、毛糸、折り紙を用意すると「なんの味にしようかな～」「4個の色でできたよ！」「コーン（紙コップをアイスのコーンに見立てる）の色塗りたい！」と、いろいろな色を組み合わせたアイス作りを楽しんでいました。中には、「くっつけるけん両面テープちょうだい！」「これなんだと思う？ミントだよ！」「ハサミで切ったらいいんじゃない？」と、今までの経験で知っているからこそ出てくる言葉も聴くことができ、子ども達の成長が感じられました。遊びをもっと楽しむために、紙コップの種類や大きさを増やしたり、ストローや空き箱を用意するなどして、子ども達が十分に発想を膨らませられるよう、考えていきたいと思います。また、今回は作るだけで終わってしまったので、そこからお友だちと一緒にお店屋さんごっこができるような環境をつくっていききたいと思います。

（健康な心と体、思考力の芽生え、豊かな感性と表現）